

安全は設備点検から

現場観察チェックシート(日常点検)

実施日
実施者
対応者

チェック項目	判断	確認結果	改善納期	対応者	指導/改善内容	実施状況
日常点検、月次点検表などあるか。(チェックポイント)点検項目、頻度、作業方法など不備がないか確認。						
その日常点検、月次点検表の良し悪しの判断基準は明確か。(チェックポイント)点検表内に記載があるか。また、手順書・基準書などに記載されていないか確認。						
異常が発生した時、(発見した時)上司や関係者へ報告しているか。(チェックポイント)工程異常報告書を発行し、発生状況の詳細を記載しているか。また、応急処置は対応しているか、トラブルシューティングを活用しているか確認。						
年間、月次整備の実施状況は、全員把握しているか。(チェックポイント)整備計画表の在り処、また、当月の整備項目は分かっているか確認。						
設備保全の必要性がわかっているか。(チェックポイント)回答例として生産設備維持、安全・安定した品質に問題ない製品を作る為に必要な行為(作業)など						
<p>(判定基準) A: できている B: 大体できている C: できていない(守られていない)(理解できていない)</p>						

安全で安定した生産を行う為には、設備起因の工程異常を無くす事が大切と考え、現場の機械やオペレーターの実態を設備担当者が観察しチェックをしながらアドバイスを行う事で正しい状態で機械を動かすことが出来るようになり自主保全を強化できました。

安全は設備点検からをモットーに行っています。

(総評)

現場観察チェックシート(清掃)

実施日
実施者
対応者

チェック項目	判断	確認結果	改善納期	対応者
成形機本体を中心とするゴミ・ホコリ・汚れ・ペレットカスなどないか。(チェックポイント)バレルシリンダ下や摺動部にペレットカスが落ちていないか。				
成形機、取出し機のグリースの給油量が適正か。また、古いグリースなどの付着がないか。(チェックポイント)必要以上に給油されていないか。また、不足・変色・ニップルなどへゴミ付着あるいは、集中給油装置の配管詰りなどおこしていないか。				
工具の整理・整頓がされているか。(チェックポイント)工具箱の中身が整理されているか。不要な物・壊れた工具などは入っていないか。				
「清掃は点検なり」設備の隅々まで手で触れ、目で見ることによって異常の兆候など発見を容易にできるが、清掃はどのくらいの頻度・周期で実施しているか。(チェックポイント)実際にどのように清掃しているか。また、どのようなところに注意して作業しているか。				
グリース給油の必要性をどこまで理解しているか。(チェックポイント)回答例としては、摺動部の摩耗によるガタつきが発生し、動作に支障をきたす。異音・振動も発生する。劣化を促進させるなど。				

(判定基準)



機械の状態を観察しアドバイス



工具の状態を観察しアドバイス



最後に質問をし理解度を確認

2013年にスタートし、機械別のチェックを5回実施。
2014年は
①日常点検②年間整備③清掃の順に3回実施。
正しい工具の使い方の講習も実施。